

2020 年度
(第 6 期)
事 業 報 告 書

自 2020 年 1 月 1 日
至 2020 年 12 月 31 日

公益財団法人 杉浦記念財団

2020年度（第6期）事業報告書

1. 事業の概況

当財団は、医学・薬学・看護学・福祉学等の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成を支援することにより、地域医療・福祉を振興し、以って、国民の健康と福祉の増進に寄与することを目的に掲げております。

2025年には団塊の世代が全て75歳以上となり、さらに、2035年には団塊ジュニアが65歳以上となることから、高齢者の全人口に占める割合がますます高まっていくことが予想されており、国民が可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を継続することができる環境を整えるに際して、地域医療・福祉の振興の領域は、単に医療・介護サービスの提供体制の構築に止まらず、健康の保持増進や介護予防といった健康寿命の延伸に資する取り組み、さらに地域共生社会の実現にまで広がりを見せております。

このような状況のなかで、当財団は、当事業年度において、以下の事業を実施いたしました。

(1) 助成・褒賞事業（公1）

助成・褒賞事業では、定款第4条第1項第1号に定める「地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞」として、杉浦地域医療振興助成（以下「杉浦助成」といいます。）と杉浦地域医療振興賞（以下「杉浦賞」といいます。）の授与を以下のとおり実施いたしました。

A. 第9回杉浦地域医療振興助成

助成の対象	地域医療振興の分野で、優れた活動や研究を行っている個人・団体で、今後より有意義な活動や研究の成果が期待されるもの
募集・選考結果	募集期間：2020年1月1日から同年2月29日まで 応募数：144件（研究分野84件、活動分野60件） 助成授与数：20件（研究分野9件、活動分野11件） 助成額：総額19,958,997円 （研究分野14,977,457円、活動分野4,981,540円）
授与式等	2020年11月19日に帝国ホテル東京にて、第9回杉浦助成の授与式と第8回杉浦助成の成果発表会を実施いたしました。

B. 第9回杉浦地域医療振興賞

褒賞対象	地域医療を振興し、国民の健康と福祉の向上に優れた成果をおさめ、住み慣れた地域で安心して、その人らしく住み続けることを支援する活動を行った団体・個人
募集・選考結果	募集期間：2019年10月1日から同年12月31日まで 応募数：23編 褒賞授与数：5編 褒賞内容：表彰盾及び副賞2,000,000円（総額10,000,000円）
授与式	2020年11月19日に帝国ホテル東京にて、第9回杉浦賞の授与式を実施いたしました。

第9回杉浦地域医療振興助成の選考委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	伴 信太郎	愛知医科大学 医学教育センター 特命教授
委員	網岡 克雄	金城学院大学 薬学部 社会薬学 教授
委員	雨師 みよ子	一般社団法人大阪府訪問看護ステーション協会 副会長 ／公益社団法人大阪介護支援専門員協会 監事
委員	安藤 明夫	中日新聞編集委員（医療担当）
委員	安東 直紀	安田女子大学 現代ビジネス学部 公共経営学科 准教授
委員	上野 桂子	社会福祉法人聖隷福祉事業団 監事／一般社団法人全国訪問看護事業協会 副会長
委員	遠藤 英俊	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 内科総合診療部長 長寿医療研修センター長
委員	大原 弘隆	名古屋市立大学大学院 地域医療教育学 教授
委員	小林 智晴	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部長
委員	齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 副会長
委員	澤登 久雄	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 地域ささえあいセンター センター長／おおた高齢者見守りネットワーク 発起人
委員	塩川 満	社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院 薬剤部長
委員	白澤 政和	国際医療福祉大学大学院 教授
委員	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長 ／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事／昭和大学 客員教授
委員	田中 雅子	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ 教授
委員	平井 みどり	兵庫県赤十字血液センター 所長
委員	平野 隆之	日本福祉大学 社会福祉学部 教授
委員	山中 崇	東京大学 医学部 在宅医療学拠点 特任准教授

（注）五十音順で記載しております。

第9回杉浦地域医療振興賞の審査委員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
委員長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長 ／日本福祉大学 常務理事
委員	秋山 弘子	東京大学 名誉教授／一般社団法人高齢社会共創センター センター長
委員	柴田 博	桜美林大学 名誉教授／一般社団法人日本応用老年学会 理事長
委員	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
委員	久常 節子	元 公益社団法人日本看護協会 会長

（注）五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（助成・褒賞事業）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	0	1,686,981	1,686,981
その他雑収益	0	1,686,981	1,686,981
経常収益計	0	1,686,981	1,686,981
(2) 経常費用			
事業費	42,185,500	40,568,238	△1,617,262
消耗品費	10,000	12,379	2,379
印刷製本費	1,940,000	2,685,310	745,310
その他	1,940,000	2,685,310	745,310
諸謝金	2,400,000	1,500,000	△900,000
選考委員謝礼	1,400,000	1,500,000	100,000
その他	1,000,000	0	△1,000,000
支払手数料	0	5,500	5,500
その他	0	5,500	5,500
租税公課	980,500	821,079	△159,421
支払助成金	20,000,000	19,958,997	△41,003
支払寄付金	10,000,000	10,000,000	0
広告宣伝費	120,000	75,592	△44,408
会議費	4,466,000	3,850,933	△615,067
助成・褒賞贈呈式会議費用	4,116,000	3,655,795	△460,205
選考委員会議費用	350,000	191,294	△158,706
その他	0	3,844	3,844
旅費交通費	2,139,000	1,331,041	△807,959
選考委員旅費交通費	469,000	246,063	△222,937
贈呈式参加者旅費交通費	1,170,000	733,107	△436,893
その他	500,000	351,871	△148,129
通信運搬費	130,000	327,407	197,407
経常費用計	42,185,500	40,568,238	△1,617,262
評価損益等調整前当期経常増減額	△42,185,500	△38,881,257	3,304,243
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△42,185,500	△38,881,257	3,304,243

経常収益は169万円で、これは、過年度の杉浦助成授与対象者からの余剰金返還額を雑収益に計上したものであります。

また、経常費用は4,057万円で、予算比△162万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 報告集の作成部数増により、印刷製本費が予算を上回ったこと（+75万円）
- 東京オリンピック・パラリンピックの開催延期により、授与式での大物ゲストによる講演を見送ったこと等により、諸謝金が予算を下回ったこと（△90万円）
- コロナ禍で授与式の参加人数が少なかったため、会議費、旅費交通費が予算を下回ったこと（△142万円）
- 通信運搬費等が予算を上回ったこと（+21万円）、支払助成金、広告宣伝費、租税公課が予算を下回ったこと（△24万円）

(2) 調査・研究事業（公2）

調査・研究事業では、定款第4条第1項第2号に定める「地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画」として、以下の研究会等を運営いたしました。

A. 都市型の看護介護医療等連携研究会

都市型の看護介護医療等連携研究会では、都市に住む高齢者が住み慣れた地域に住み続けることを前提に、これを支援する多職種協働のあるべき姿を追究しており、当事業年度は2回開催（うち1回はウェブ開催）いたしました。なお、講師の承諾が得られた講演は、地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修のコンテンツに活用しております。

各回の概要は、以下のとおりです。

【第4期：地域包括ケアシステムの深化～生活支援を含む複合サービスが地域を支える～】

	開催日	テーマ／講師
第5回	2020年 1月16日 (木)	地域でなおしさをさえる医療～おたがいさまのまちづくり～／西岡 麻知子（南医療生活協同組合 地域ささえあいセンター 部長）
第6回	2020年 9月10日 (木)	人工知能研究に基づくケア知の構造化と活用／小林 美亜（静岡大学 創造科学技術大学院 創造科学技術研究部 特任教授）

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	田中 滋	埼玉県立大学 理事長／慶應義塾大学 名誉教授
副座長	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事／昭和大学 客員教授
副座長	宮島 渡	社会福祉法人恵仁福祉協会 常務理事／高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ 総合施設長
副座長	秋山 正子	株式会社ケアーズ 代表取締役 白十字訪問看護ステーション 統括所長 暮らしの保健室 室長
アドバイザー	齋藤 訓子	公益社団法人日本看護協会 副会長
アドバイザー	宮島 俊彦	岡山大学 客員教授
アドバイザー	森 貞述	特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 理事
会員	朝田 隆	医療法人社団創知会 理事長 メモリークリニックお茶の水 院長／東京医科歯科大学 脳統合機能研究センター 特任教授
会員	阿部 智子	訪問看護ステーションけせら 管理者
会員	栗田 圭一	地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター 研究所

役名	氏名	所属・役職
会 員	石山 麗子	国際医療福祉大学大学院 教授
会 員	板谷 匠	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 経営企画室 室長 リハビリステーション部 部長
会 員	伊藤 善典	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授
会 員	宇都宮 宏子	在宅ケア移行支援研究所 代表
会 員	大木 一正	有限会社クリーン薬局 代表取締役
会 員	大澤 光司	株式会社メディカルグリーン 代表取締役社長
会 員	岡田 太造	兵庫県立大学 大学院経営研究科 客員教授
会 員	岡本 茂雄	国立研究開発法人産業技術総合研究所 招聘研究員
会 員	勝又 浜子	公益社団法人日本看護協会 専務理事
会 員	川越 正平	あおぞら診療所 院長
会 員	川田 利輝	公益財団法人さわやか福祉財団
会 員	木全 真理	東京大学高齢社会総合研究機構 特任助教
会 員	小玉 剛	公益社団法人日本歯科医師会 常務理事
会 員	後藤 恵子	東京理科大学 薬学部 薬学科 健康心理学研究室 教授
会 員	澤登 久雄	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 地域ささえ あいセンター センター長／おおた高齢者見守りネ ットワーク 発起人
会 員	椎名 美恵子	有限会社ふれすか 代表取締役 訪問看護ステーステ ーションみけ 所長
会 員	柴田 範子	特定非営利活動法人楽 理事長
会 員	清水 まや	社会医療法人財団仁医会 牧田総合病院 経営企画室 副室長 薬剤部課長
会 員	助川 未枝保	社会福祉法人六親会 船橋市三山・田喜野井地域包括 支援センター センター長
会 員	高砂 裕子	一般社団法人南区医師会 南医師会訪問看護ステー ーション 管理者
会 員	高橋 紘士	一般財団法人高齢者住宅財団 特別顧問／東京通信 大学 教授
会 員	竹林 洋一	静岡大学 創造科学技術大学院 特任教授
会 員	都築 真哉	社会福祉法人高浜市社会福祉協議会 事務局長
会 員	鶴山 芳子	公益財団法人さわやか福祉財団 理事

役名	氏名	所属・役職
会 員	長尾 和宏	医療法人社団裕和会 理事長 長尾クリニック 院長
会 員	新田 國夫	医療法人社団つくし会 理事長 新田クリニック 院長
会 員	野中 久美子	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究員
会 員	馬袋 秀男	一般社団法人「民間事業の質を高める」全国介護事業者協議会 特別理事
会 員	日栄 優	社会福祉法人京都福祉サービス協会 西京事務所 所長
会 員	藤田 正之	医療法人仁医会 理事 西尾市地域包括支援センター 西尾 センター長
会 員	藤原 佳典	東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健健康チームリーダー・研究部長
会 員	船木 良真	医療法人三つ葉 理事長
会 員	古都 賢一	社会福祉法人全国社会福祉協議会 副会長
会 員	堀田 力	公益財団法人さわやか福祉財団 会長
会 員	宮路 博	社会福祉法人京都福祉サービス協会 居宅本部 副本部長
会 員	山村 由美子	社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 こぶし 24 時間ケアサービスステーション リーダー
会 員	山下 和彦	医療法人社団至高会 たかせクリニック 地域医療研究部 部長 工学博士
会 員	山下 知子	医療法人社団至高会 たかせクリニック
会 員	吉井 靖子	社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園 総合施設長
会 員	吉江 悟	東京大学高齢社会総合研究機構／一般社団法人 Neighborhood Care 代表理事
オブザーバー	濱谷 浩樹	厚生労働省 老健局長
オブザーバー	込山 愛郎	厚生労働省 保険局 高齢者医療課長
オブザーバー	尾崎 守正	厚生労働省 老健局 振興課長
オブザーバー	武井 佐代里	厚生労働省 老健局 高齢者支援課長
オブザーバー	堀 恵子	東京都大田区 福祉部 高齢福祉課長

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 A）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	6,416,300	1,810,611	△4,605,689
消耗品費	0	300	300
印刷製本費	2,960,000	0	△2,960,000
その他	2,960,000	0	△2,960,000
諸謝金	550,000	140,000	△410,000
セミナー講師謝礼	400,000	80,000	△320,000
その他	150,000	60,000	△90,000
租税公課	533,300	141,646	△391,654
会議費	1,350,000	500,477	△849,523
研究会会議費	1,350,000	492,087	△857,913
その他	0	8,390	8,390
旅費交通費	1,000,000	315,800	△684,200
研究会会員旅費交通費	800,000	141,104	△658,896
その他	200,000	174,696	△25,304
通信運搬費	23,000	5,478	△17,522
雑費	0	706,910	706,910
経常費用計	6,416,300	1,810,611	△4,605,689
評価損益等調整前当期経常増減額	△6,416,300	△1,810,611	4,605,689
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△6,416,300	△1,810,611	4,605,689

経常費用は 181 万円で、予算比△461 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 研究会を 6 回開催予定のところ、コロナ禍で 2 回開催（うちウェブ開催 1 回）となったほか、講演集 Vol.6 の完成時期が翌期となったため、印刷製本費、諸謝金、会議費、旅費交通費、通信運搬費、租税公課が想定を下回ったこと（△531 万円）
- 予算外の音声文字起こし費用が生じたため、雑費に計上したこと（+71 万円）

B. 医薬品適正使用協働研究会

医薬品適正使用協働研究会では、医薬品適正使用の観点から、チーム医療における協働のあり方を追究しており、当事業年度は3回開催（うち2回はウェブ開催）いたしました。なお、講師の承諾が得られた講演は、地域包括ケアを担う薬剤師の為のインターネット研修のコンテンツに活用しております。

各回の概要は、以下のとおりです。

	開催日	テーマ／講師
第32回	2020年 2月12日 (水)	田舎のクリニックの話／ 中野 博司（たいようクリニック 院長）
第33回	2020年 10月14日 (水)	ポリファーマシーから生じるドライマウスと口腔機能障害／阪井 丘芳（大阪大学 大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座 顎口腔機能治療学教室 教授）
第34回	2020年 12月9日 (水)	多職種でできるポリファーマシー対策～コロナ禍の現状をふまえて～／北 和也（やわらぎクリニック 院長）

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	秋下 雅弘	東京大学 大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻 教授／東京大学医学部附属病院 老年病科 教授
副座長	倉田 なおみ	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 客員教授
副座長	鈴木 裕介	名古屋大学医学部附属病院 地域連携・患者相談センター 准教授
副座長	水上 勝義	筑波大学 大学院人間総合科学研究科 スポーツ健康システム・マネジメント専攻長 教授
会員	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 副機構長 執行委員 教授
会員	五十嵐 中	東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学 特任准教授
会員	石崎 達郎	東京都健康長寿医療センター研究所/福祉と生活ケア研究チーム 研究部長
会員	牛田 誠	名城大学 薬学部 臨床薬学教育・研究推進センター 実践薬学Ⅱ 准教授
会員	大井 一弥	鈴鹿医療科学大学 薬学部 薬学科 教授
会員	大嶋 繁	城西大学 薬学部 薬学科 准教授
会員	大谷 道輝	公益財団法人佐々木研究所附属杏雲堂病院 診療技術部長 薬剤科長／東京薬科大学 客員教授
会員	大田 秀隆	秋田大学高齢者医療先端研究センター センター長
会員	大屋 亜希子	一般社団法人サードパス（愛称：医療“学び場”創造機構）代表理事

役名	氏名	所属・役職
会 員	岡崎 光洋	東京大学 大学院薬学系研究科 医薬政策学講座 特任研究員／一般社団法人スマートヘルスケア協会 代表理事
会 員	恩田 光子	大阪薬科大学 社会薬学・薬局管理学研究室 教授
会 員	川添 哲嗣	医療法人つくし会 南国病院 薬剤部長
会 員	金澤 幸江	一般社団法人土浦薬剤師会 会長
会 員	亀井 浩行	名城大学 薬学部 病院薬学研究室 教授
会 員	亀井 美和子	帝京平成大学 薬学部長
会 員	岸本 桂子	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 准教授
会 員	小島 太郎	東京大学医学部附属病院 老年病科 助教
会 員	後藤 恵子	東京理科大学 薬学部 薬学科 健康心理学研究室 教授
会 員	佐藤 啓	公益財団法人日本薬剤師研修センター 常務理事
会 員	柴田 ゆうか	広島大学病院 医療安全管理部 専任リスクマネジャー 薬剤主任 日本医療薬学会指導薬剤師
会 員	杉浦 伸一	同志社女子大学 薬学部 教授
会 員	鈴木 匡	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 臨床薬学分野 教授
会 員	清野 敏一	帝京平成大学 薬学部 薬学科 教授
会 員	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事／昭和大学 客員教授
会 員	成井 浩二	東京薬科大学 薬学部 一般用医薬品学教室
会 員	西岡 達也	神戸大学医学部附属病院 薬剤部 副薬剤部長
会 員	浜田 将太	一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 主任研究員
会 員	伴 信太郎	愛知医科大学 医学教育センター 特命教授
会 員	平井 みどり	兵庫県赤十字血液センター 所長
会 員	福島 紀子	慶応義塾大学 薬学部 名誉教授／一般社団法人慶應義塾大学薬学部K P会 副会長
会 員	福田 八寿絵	鈴鹿医療科学大学 医療人底力教育センター 副センター長
会 員	船津 久美	社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会 薬剤検査料長

役名	氏名	所属・役職
会員	古田 勝経	医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター長 (国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 特任研究員)
会員	堀 美智子	株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者 / スギホールディングス株式会社 社外取締役
会員	舩本 祥一	筑波大学附属病院 地域総合診療医学 講師
会員	真野 泰成	東京理科大学 薬学部 薬学科 准教授
会員	丸岡 弘治	医療法人社団協友会 介護老人保健施設横浜あおばの里
会員	溝神 文博	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 薬剤部 / 日本褥瘡学会認定褥瘡薬剤師
会員	八木原 栄	東京都立神経病院 薬剤科
会員	山浦 克典	慶応義塾大学 薬学部 教授
会員	山中 崇	東京大学 医学部 在宅医療学拠点 特任准教授
会員	吉尾 隆	東邦大学 薬学部 医療薬学教育センター 臨床薬学研究室 教授 薬学博士 精神科専門薬剤師
オブザーバー	浅井 文和	朝日新聞社 東京本社 科学医療部 編集委員
オブザーバー	池野 敬	国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 臨床研究支援部門 研究企画推進部 データ管理室
オブザーバー	熊木 良太	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門助教
オブザーバー	小西 公子	東京都立東部療育センター 薬剤検査科 薬剤係長
オブザーバー	寺崎 省子	朝日新聞社 東京本社 科学医療部 記者
オブザーバー	根本 英一	株式会社南山堂 「薬局」編集部 編集長
オブザーバー	野出 典子	株式会社ベネッセホールディングス 介護・保育カンパニー地域連携本部 看護職員
オブザーバー	古川 晶彦	株式会社南山堂 編集部 編集長
オブザーバー	間宮 郁子	国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部
オブザーバー	宮崎 さやか	静岡県立大学 大学院薬食生命科学総合学府
オブザーバー	吉田 学	厚生労働省 大臣官房審議官 (医療介護連携担当)

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 B）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	2,794,000	961,996	△1,832,004
印刷製本費	10,000	0	△10,000
その他	10,000	0	△10,000
諸謝金	550,000	250,000	△300,000
セミナー講師謝礼	400,000	160,000	△240,000
その他	150,000	90,000	△60,000
租税公課	204,000	61,543	△142,457
会議費	1,265,000	422,966	△842,034
研究会会議費	1,265,000	412,749	△852,251
その他	0	10,217	10,217
旅費交通費	750,000	224,405	△525,595
研究会会員旅費交通費	550,000	147,342	△402,658
その他	200,000	77,063	△122,937
通信運搬費	15,000	3,082	△11,918
経常費用計	2,794,000	961,996	△1,832,004
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,794,000	△961,996	1,832,004
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,794,000	△961,996	1,832,004

経常費用は 96 万円で、予算比△183 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 研究会を 6 回開催予定のところ、コロナ禍で 3 回開催（うち 2 回はウェブ開催）となったため、印刷製本費、諸謝金、会議費、旅費交通費、通信運搬費、租税公課が想定を下回ったこと（△183 万円）

C. 愛知県地域再生・まちづくり研究会

愛知県地域再生・まちづくり研究会では、「これから生まれてくる人のために 2060 年までをどうデザインするか」をテーマに、その「プラットフォーム」を策定するに際して、問題点を明確にしたうえで、その解決方法を追究しており、当事業年度は 12 回（次世代メンバーミーティング 6 回を含みます。）開催いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。

	開催日	テーマ／講師
第 17 回	2020 年 1 月 10 日 (金)	認知症施策の現状と課題／植羅 哲也（愛知県福祉局 介護推進監） 認知症疫学総括／長谷川 敏彦（一般社団法人未来医療研究機構 代表理事）
第 18 回	2020 年 1 月 19 日 (日)	次世代メンバーミーティング 次回シンポジウムでの提言発表に向けて実施すべきことの意見抽出
第 19 回	2020 年 2 月 7 日 (金)	次世代検討会報告／青山 幸一（豊根村役場 農林土木課長） 地域でなおしささえる医療～おたがいさまのまちづくり～／西岡 麻知子（南医療生活協同組合 地域ささえあいセンター部長）
第 20 回	2020 年 6 月 5 日 (金)	認知症の予防と共生～20 年後・40 年後の社会を考える／櫻井 孝（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター もの忘れセンター長）
第 21 回	2020 年 7 月 16 日 (木)	次世代メンバーミーティング 今後の研究テーマと進め方に関する討論
第 22 回	2020 年 7 月 29 日 (水)	次世代メンバーミーティング 今後の研究テーマに関する新型コロナの影響を踏まえた意見抽出
第 23 回	2020 年 8 月 7 日 (金)	次世代メンバーミーティング報告／青山 幸一（豊根村役場 農林土木課長） 今後の研究会の進め方について
第 24 回	2020 年 9 月 25 日 (金)	仮説「新型コロナにより従来考えていた未来が少し早く訪れたのではないか」に関する各フィールドでの具体的検証
第 25 回	2020 年 10 月 10 日 (土)	次世代メンバーミーティング（以下を踏まえた討論） 働き方：テレワーク、オンライン（技術） 暮らし方：給付金、BI、経済の停滞
第 26 回	2020 年 11 月 3 日 (火)	次世代メンバーミーティング 提言発表の内容検討（未来の問題を自分事と捉えるために）
第 27 回	2020 年 11 月 12 日 (木)	次世代メンバーからの来期予定の発表
第 28 回	2020 年 12 月 19 日 (土)	次世代メンバーミーティング 研究論点の再検討（『一生を各ステージに分けて、働き方・暮らし方をそれぞれ考える』をベースに）

当該研究会の参加メンバーは、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
座長	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
アドバイザー	後 房雄	愛知大学 地域政策学部 教授／名古屋大学 名誉教授
アドバイザー	大貫 徹	名古屋工業大学 名誉教授／国際ファッション専門職大学 教授
アドバイザー	長谷川 敏彦	一般社団法人未来医療研究機構 代表理事
会員 リーダー	青山 幸一	豊根村役場 農林土木課長
会員 副リーダー	西岡 麻知子	南医療生活協同組合 地域ささえあいセンター 部長 リハビリテーション部長 理学療法士
会員	伊神 慎二	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 総務部 副部長
会員	岩岡 ひとみ	特定非営利活動法人全国福祉理美容師養成協会 (NPO ふくりび) 事務局長
会員	大家 利之	中京大学 スポーツ科学部 競技スポーツ科学科 准教授／中京大学体育会 サッカー部 女子 監督
会員	都築 晃	藤田医科大学地域包括ケア中核センター 医学博士 理学療法士
会員	長谷川 友紀	コミュニティ・ユース・バンク momo 副代表理事
会員	日渡 健介	一般社団法人未来医療研究機構
会員	三矢 勝司	特定非営利活動法人岡崎まち育てセンター・りた 事務局次長
会員	若杉 玲子	長久手市役所 政策秘書課長
オブザーバー	石田 芳弘	至学館大学 コミュニケーション研究所 所長 (元 愛知県犬山市長)
オブザーバー	大沢 勝	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 名誉会長／日本福祉大学 名誉総長
オブザーバー	大森 雅弥	中日新聞 編集局 編集委員
オブザーバー	小木曾 尚登	愛知県 福祉局 介護推進監
オブザーバー	北川 薫	梅村学園 学事顧問 (元 中京大学 学長)／梅村学園・中京大学スポーツ将来構想会議 議長
オブザーバー	小林 弘和	中部経済産業局 地域経済部次世代産業課 ヘルスケア産業室 室長補佐
オブザーバー	今野 直明	中部経済産業局 地域経済部次世代産業課 ヘルスケア産業室長
オブザーバー	丹羽 則雄	社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 企画室長
オブザーバー	森 貞述	特定非営利活動法人地域ケア政策ネットワーク 理事 (元 愛知県高浜市長)
オブザーバー	安井 俊夫	愛知総合看護福祉専門学校もりのがくえん 校長 (元 愛知県教育長)

役名	氏名	所属・役職
オブザーバー	山本 保	元 参議院議員・総務大臣政務官／ 元 厚生省児童福祉専門官

(注) 五十音順で記載しております。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 C）

科目	予算額	決算額	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	7,934,950	1,447,773	△6,487,177
印刷製本費	1,934,500	0	△1,934,500
その他	1,934,500	0	△1,934,500
諸謝金	1,550,000	290,000	△1,260,000
セミナー講師謝礼	920,000	80,000	△840,000
その他	630,000	210,000	△420,000
支払手数料	20,000	800	△19,200
その他	20,000	800	△19,200
租税公課	580,450	91,662	△488,788
広告宣伝費	300,000	0	△300,000
会議費	2,010,000	398,490	△1,611,510
研究会会議費	1,170,000	386,853	△783,147
セミナー会議費用	840,000	0	△840,000
その他	0	11,637	11,637
旅費交通費	1,420,000	655,820	△764,180
研究会会員旅費交通費	1,400,000	648,483	△751,517
その他	20,000	7,337	△12,663
通信運搬費	120,000	11,001	△108,999
経常費用計	7,934,950	1,447,773	△6,487,177
評価損益等調整前当期経常増減額	△7,934,950	△1,447,773	6,487,177
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△7,934,950	△1,447,773	6,487,177

経常費用は 145 万円で、予算比△649 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- コロナ禍でシンポジウム開催、報告集作成の見送り（△439 万円）のほか、研究会のウェブ開催やウェブ出席（△210 万円）により、印刷製本費、諸謝金、支払手数料、広告宣伝費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、租税公課が予算を下回ったこと

D. 健康寿命延伸と介護予防を考える会

健康寿命延伸と介護予防を考える会では、70歳以降に要介護状態になることなく、可能な限り長く自立して生きていくために、今後の我が国での健康寿命の延伸方策を模索しておりましたところ、当事業年度はコロナ禍で開催できませんでした。

予算対比正味財産増減計算書（調査・研究事業 D）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	0	0	0
(2) 経常費用			
事業費	1,782,600	5,040	△1,777,560
印刷製本費	12,000	0	△12,000
その他	12,000	0	△12,000
諸謝金	720,000	0	△720,000
セミナー講師謝礼	540,000	0	△540,000
その他	180,000	0	△180,000
租税公課	96,600	458	△96,142
会議費	600,000	0	△600,000
研究会会議費	600,000	0	△600,000
旅費交通費	330,000	0	△330,000
研究会会員旅費交通費	330,000	0	△330,000
通信運搬費	24,000	4,582	△19,418
経常費用計	1,782,600	5,040	△1,777,560
評価損益等調整前当期経常増減額	△1,782,600	△5,040	1,777,560
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△1,782,600	△5,040	1,777,560

当会を6回開催予定のところ、コロナ禍で開催できなかったため、経常費用は通信運搬費、租税公課で5千円が生じたのみで、予算比△178万円となりました。

(3) 講座・セミナー事業（一般対象）（公3）

講座・セミナー事業（一般対象）では、定款第4条第1項第6号に定める「その他前条の目的を達成するために必要な事業」として、主に一般の方を対象としたセミナー等を以下のとおり実施いたしました。

A. 健康増進セミナー

健康増進セミナーでは、関東・中部・関西の主要都市にて、体組成・骨密度・血管年齢等の測定、健康相談、講演会を株式会社スギ薬局の協賛にて実施しており、当事業年度は5回開催（うち3回は東京・大阪・愛知の3会場同時中継による講演会を開催）いたしました。

各回の概要は、以下のとおりです。

セミナー	開催日	テーマ／講師	参加人数
健康増進セミナーin大阪	2020年1月19日（日）	おうちで看取る在宅医の話／清水 一亘（医療法人聖授会 緑・在宅クリニック 院長） らくらく代謝アップ術／柏本 武志（コナミスポーツ株式会社 スタートレーナー）	600名
健康増進セミナーin東京	2020年2月1日（土）	認知症の最新治療から予防まで／新井 平伊（アルツククリニック東京 院長、順天堂大学 名誉教授） らくらく代謝アップ術／貞 喜代彦（コナミスポーツクラブ目黒青葉台 フィットネスインストラクター）	500名
健康増進セミナー（東京・大阪・愛知同時中継）	2020年8月30日（日）	ポストコロナ時代の健康長寿を考える／荒井 秀典（国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長） 健康応援薬局の役割とは／杉浦 伸哉（株式会社スギ薬局 常務取締役）	233名
健康増進セミナー（東京・大阪・愛知同時中継）	2020年9月27日（日）	コロナと共に生きる時代、薬局をどう活用するか？／堀 美智子（スギホールディングス株式会社 社外取締役） 病気の予防や健康維持、簡単な栄養アドバイス！／吉本 のりこ（株式会社スギ薬局 ウェルネス事業部 管理栄養士）	427名
健康増進セミナー（東京・大阪・愛知同時中継）	2020年10月25日（日）	ウィズコロナ時代の認知症予防と治療／勝野 雅央（名古屋大学 大学院医学系研究科 神経内科学 教授） 地域での薬局薬剤師の活躍／山本 卓資（株式会社スギ薬局 出戸店 管理薬剤師）	573名

また、健康増進、介護予防等に関する教材として、以下の冊子を作成のうえ無償提供しております。

冊子名	無償配布数
高齢者が気を付けたい多すぎる薬と副作用	2万部
健康情報紙（新型コロナ対策特集）	140万部
在宅介護ガイド	約100部

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（一般対象）A）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
雑収益	0	909,091	909,091
その他雑収益	0	909,091	909,091
経常収益計	0	909,091	909,091
(2) 経常費用			
事業費	5,832,500	14,622,172	8,789,672
消耗品費	0	6,012	6,012
印刷製本費	2,405,000	10,303,636	7,898,636
その他	2,405,000	10,303,636	7,898,636
諸謝金	1,150,000	640,000	△510,000
セミナー講師謝礼	1,150,000	440,000	△710,000
その他	0	200,000	200,000
支払手数料	0	57,500	57,500
その他	0	57,500	57,500
租税公課	304,500	1,067,150	762,650
広告宣伝費	160,000	0	△160,000
会議費	70,000	980,639	910,639
セミナー会議費用	70,000	974,216	904,216
その他	0	6,423	6,423
旅費交通費	320,000	41,986	△278,014
セミナー講師旅費交通費	170,000	27,007	△142,993
その他	150,000	14,979	△135,021
通信運搬費	90,000	192,249	102,249
減価償却費	1,333,000	1,333,000	0
経常費用計	5,832,500	14,622,172	8,789,672
評価損益等調整前当期経常増減額	△5,832,500	△13,713,081	△7,880,581
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△5,832,500	△13,713,081	△7,880,581

経常収益は 91 万円で、これは、当財団作成の健康情報誌への協賛企業の広告掲載料を雑収益に計上したものであります。

また、経常費用は 1,462 万円で、予算比 +879 万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 健康増進セミナーを 10 回開催予定のところ、コロナ禍で 5 回開催（うち 3 回は東京・大阪・愛知の 3 会場同時中継による講演会を開催）となったため、諸謝金、広告宣伝費、旅費交通費が予算を下回ったこと（△95 万円）
- 新型コロナ対策を特集した健康情報誌等の作成により、印刷製本費、通信運搬費が予算を超過したこと（+800 万円）
- 健康増進セミナー参加者への講師著書の贈呈により、会議費が予算を超過したこと（+91 万円）
- 予算外の消耗品費、支払手数料が生じたほか、上記に伴う租税公課が予算を超過したこと（+83 万円）

(4) 講座・セミナー事業（専門家対象）（公4）

講座・セミナー事業（専門家対象）では、定款第4条第1項第3号に定める「医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業」として、「地域包括ケアを担う薬剤師の為にインターネット研修」を実施いたしました。

当該研修では、医師、看護師、その他スタッフとの密接な連携のもとに地域医療における療養環境の充実に貢献することができる薬剤師の育成に資する講座を開設しており、当該研修の受講により、研修認定薬剤師制度における集合研修の単位を取得することができます。なお、当事業年度末日現在の提供講座数は138講座、登録受講者数は4,230名です。

また、地域医療・在宅医療に貢献する医療・福祉従事者育成のための教材として、当財団事務局長が執筆協力した『高齢者の医薬品適正使用の指針 各論編（療養環境別）』（2019年6月厚生労働省）を冊子印刷のうえ2,000部無償配布しております。

予算対比正味財産増減計算書（講座・セミナー事業（専門家対象））

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	1,636,500	7,597,287	5,960,787
研修事業会費	1,636,500	7,597,287	5,960,787
経常収益計	1,636,500	7,597,287	5,960,787
(2) 経常費用			
事業費	6,017,882	7,624,394	1,606,512
消耗品費	0	3,866	3,866
印刷製本費	1,700,000	2,680,000	980,000
教材撮影編集費	1,700,000	2,355,000	655,000
その他	0	325,000	325,000
諸謝金	750,000	820,000	70,000
セミナー講師謝礼	750,000	820,000	70,000
支払手数料	1,914,120	2,642,224	728,104
ID管理費	1,260,000	1,568,000	308,000
日本薬剤師研修センター認定費	372,000	360,000	△12,000
その他	282,120	714,224	432,104
租税公課	348,762	△132,980	△481,742
広告宣伝費	60,000	0	△60,000
会議費	50,000	32,789	△17,211
セミナー会議費用	50,000	0	△50,000
その他	0	32,789	32,789
旅費交通費	150,000	426,555	276,555
セミナー講師旅費交通費	0	22,127	22,127
その他	150,000	404,428	254,428
通信運搬費	250,000	506,940	256,940
減価償却費	795,000	645,000	△150,000
経常費用計	6,017,882	7,624,394	1,606,512
評価損益等調整前当期経常増減額	△4,381,382	△27,107	4,354,275
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△4,381,382	△27,107	4,354,275

経常収益は760万円で、予算比+596万円となりました。主な要因は、団体での受講が増加したためです。

また、経常費用は762万円で、予算比+161万円となりました。主な要因は、以下のとおりです。

- 受講者の増加、受講コンテンツの追加、予算外の冊子作成により、印刷製本費、諸謝金、支払手数料、旅費交通費、通信運搬費が予算を超過したこと（+231万円）
- 課税売上の増加により租税公課が予算を下回ったこと（△48万円）
- 広告宣伝費の計上がなかったこと（△6万円）
- 受講サイト機能追加の翌期への延期により、減価償却費が予算を下回ったこと（△15万円）
- 予算外の消耗品費が生じたこと、会議費が予算を下回ったこと（△1万円）

(5) 公益事業共通

公益事業共通には、公益事業に共通する収益及び費用を計上しております。

予算対比正味財産増減計算書（公益事業共通）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	44,602,590	11,224,590	△33,378,000
基本財産受取利息振替額	98,590	98,590	0
基本財産受取配当金	44,504,000	11,126,000	△33,378,000
受取寄付金	17,000,000	43,694,000	26,694,000
受取寄付金	17,000,000	43,694,000	26,694,000
経常収益計	61,602,590	54,918,590	△6,684,000
(2) 経常費用			
事業費	2,820,000	2,553,104	△266,896
給料手当	2,820,000	2,553,104	△266,896
経常費用計	2,820,000	2,553,104	△266,896
評価損益等調整前当期経常増減額	58,782,590	52,365,486	△6,417,104
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	58,782,590	52,365,486	△6,417,104

経常収益は、5,492 万円で、予算比△668 万円となりました。受取配当金が予算を 3,338 万円下回ったものの、受取寄付金は総数 1,316 件、総額 4,369 万円（うち企業・団体：273 件、3,014 万円、個人：1,043 件、1,355 万円）で、予算を 2,669 万円上回りました。

また、経常費用は 255 万円で、給料手当が予算を下回り、予算比△27 万円となりました。

(6) 一般事業

一般事業には、当財団の管理・運営に係る収益及び費用を計上しております。

予算対比正味財産増減計算書（一般事業）

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	16,000,000	4,000,000	△12,000,000
基本財産受取配当金	16,000,000	4,000,000	△12,000,000
雑収益	98,590	407,431	308,841
受取利息	98,590	98,849	259
その他雑収益	0	308,582	308,582
経常収益計	16,098,590	4,407,431	△11,691,159
(2) 経常費用			
管理費	21,741,214	22,088,164	346,950
役員等報酬	2,700,000	2,200,000	△500,000
評議員報酬	1,000,000	850,000	△150,000
理事報酬	1,300,000	950,000	△350,000
監事報酬	400,000	400,000	0
消耗品費	40,000	64,804	24,804
印刷製本費	3,580,000	3,507,190	△72,810
賃借料	180,000	180,000	0
支払手数料	305,008	351,278	46,270
租税公課	738,229	1,173,947	435,718
給料手当	7,920,000	8,084,834	164,834
支払寄付金	2,780,000	565,000	△2,215,000
広告宣伝費	606,180	1,300,000	693,820
ホームページ関連費用	606,180	1,200,000	593,820
その他	0	100,000	100,000
会議費	703,500	445,164	△258,336
旅費交通費	933,000	628,616	△304,384
評議員旅費交通費	400,000	214,474	△185,526
理事旅費交通費	380,000	116,971	△263,029
監事旅費交通費	63,000	57,246	△5,754
職員旅費交通費	90,000	235,261	145,261
その他	0	4,664	4,664
通信運搬費	384,600	691,723	307,123
電子メール費用	0	4,762	4,762
電話料	102,000	101,138	△862
その他	282,600	585,823	303,223
減価償却費	220,697	470,697	250,000
雑費	650,000	2,424,911	1,774,911
新聞図書費	0	37,355	37,355
その他	650,000	2,387,556	1,737,556
経常費用計	21,741,214	22,088,164	346,950
評価損益等調整前当期経常増減額	△5,642,624	△17,680,733	△12,038,109
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△5,642,624	△17,680,733	△12,038,109

経常収益は、441 万円で、予算比 Δ 1,169 万円となりました。受取配当金が予算を 1,200 万円下回ったこと、雑所得（原稿料、講演料）があったこと（+31 万円）が主な要因です。

また、経常費用は 2,209 万円で、予算比+35 万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

- コロナ禍で役員等報酬、印刷製本費、会議費、旅費交通費が予算を下回ったこと（ Δ 114 万円）
- 医療・介護施設 約 1,000 箇所へのマスク寄贈により雑費、通信運搬費が予算を上回ったこと（+208 万円）
- ホームページのリニューアルにより広告宣伝費、減価償却費が予算を上回ったこと（+94 万円）
- 上記のほか、消耗品費、支払手数料、給料手当、租税公課が予算を上回ったこと（+67 万円）、支払寄付金が予算を下回ったこと（ Δ 222 万円）

2. 決算の概況

(1) 正味財産増減計算書（決算報告書2～3頁）

一般正味財産増減の部では、経常収益 6,952 万円（前年度比△1,075 万円）に対し、経常費用は、事業費 6,959 万円（前年度比△50 万円）、管理費 2,209 万円（前年度比+364 万円）、合計 9,168 万円（前年度比+314 万円）でした。当期経常増減額は△2,216 万円（前年度比△1,389 万円）となり、当期一般正味財産増減額も△2,216 万円（前年度比△1,389 万円）となりました。その結果、一般正味財産期末残高は、期首残高 4,756 万円から△2,216 万円の 2,540 万円となりました。

指定正味財産増減の部では、基本財産運用益 10 万円に対し、一般正味財産への振替額 10 万円で、当期指定正味財産増減額はありませんでした。その結果、指定正味財産期末残高は、期首残高と同額の 208 億 4,791 万円となりました。

以上の結果、正味財産期末残高は 208 億 7,331 万円（前年度比△2,216 万円）となりました。

正味財産増減計算書の要旨

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
経常収益計	69,519,380	80,272,556	△10,753,176
(2) 経常費用			
事業費	69,593,328	70,093,872	△500,544
管理費	22,088,164	18,448,126	3,640,038
経常費用計	91,681,492	88,541,998	3,139,494
評価損益等調整前当期経常増減額	△22,162,112	△8,269,442	△13,892,670
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△22,162,112	△8,269,442	△13,892,670
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△22,162,112	△8,269,442	△13,892,670
一般正味財産期首残高	47,561,284	55,830,726	△8,269,442
一般正味財産期末残高	25,399,172	47,561,284	△22,162,112
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益	98,590	98,620	△30
基本財産受取利息	98,590	98,620	△30
一般正味財産への振替額	△98,590	△98,620	30
基本財産受取利息振替額	△98,590	△98,620	30
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	20,847,910,372	20,847,910,372	0
指定正味財産期末残高	20,847,910,372	20,847,910,372	0
III 正味財産期末残高	20,873,309,544	20,895,471,656	△22,162,112

(2) 貸借対照表 (決算報告書 1 頁)

流動資産は、前年度比 $\Delta 1,603$ 万円の1,954万円となり、その主因は、現金預金が前年度比 $\Delta 1,615$ 万円となったことにあります。

固定資産は、前年度比 $+18$ 万円の208億6,281万円となり、要因は、ホームページのリニューアル等のソフトウェアの増加額が265万円、償却による減少額が247万円であったことにあります。

以上の結果、資産合計は、前年度比 $\Delta 1,585$ 万円の208億8,235万円となりました。

流動負債は、前年度比 $+632$ 万円の904万円となり、その主因は、褒賞・助成授与式の開催時期の2020年7月から同年11月への延期等により未払金が前年度比 $+328$ 万円となったこと、また、翌期分のインターネット研修会費300万円を前受金に計上したことにあります。固定負債に該当するものがないので、負債合計は流動負債と同額となります。

なお、資産負債の詳細につきましては、財産目録 (決算報告書 8 頁) に記載のとおりです。

貸借対照表の要旨

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,912,569	32,061,179	$\Delta 16,148,610$
その他の流動資産	3,627,188	3,503,816	123,372
流動資産合計	19,539,757	35,564,995	$\Delta 16,025,238$
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	20,847,918,572	20,847,929,982	$\Delta 11,410$
基本財産合計	20,847,918,572	20,847,929,982	$\Delta 11,410$
(3) その他固定資産			
什器備品	1,501,184	2,894,117	$\Delta 1,392,933$
ソフトウェア	3,384,182	1,789,946	1,594,236
投資有価証券	10,008,200	10,019,610	$\Delta 11,410$
その他固定資産合計	14,893,566	14,703,673	189,893
固定資産合計	20,862,812,138	20,862,633,655	178,483
資産合計	20,882,351,895	20,898,198,650	$\Delta 15,846,755$
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	5,985,069	2,704,418	3,280,651
前受金	3,000,000	0	3,000,000
預り金	57,282	22,576	34,706
流動負債合計	9,042,351	2,726,994	6,315,357
負債合計	9,042,351	2,726,994	6,315,357
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	20,847,910,372	20,847,910,372	0
(うち基本財産への充当額)	20,847,910,372	20,847,910,372	0
2. 一般正味財産	25,399,172	47,561,284	$\Delta 22,162,112$
(うち基本財産への充当額)	8,200	19,610	$\Delta 11,410$
正味財産合計	20,873,309,544	20,895,471,656	$\Delta 22,162,112$
負債及び正味財産合計	20,882,351,895	20,898,198,650	$\Delta 15,846,755$

3. 法人の概況

(1) 設立日及び公益認定日

設立日及び公益認定日は、以下のとおりです。

- 設 立 日 2011年9月1日
- 公益認定日 2015年7月1日

(2) 主たる事務所の所在地

主たる事務所の所在地は、以下のとおりです。

- 愛知県大府市横根町新江 62 番地の 1

(3) 定款に定める目的

定款に定める目的は、以下のとおりです。

- 医学・薬学・看護学・福祉学等の進歩発展、医薬品の研究・開発、医薬品の安定的且つ安全な供給と医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成を支援することにより、地域医療・福祉を振興し、以って、国民の健康と福祉の増進に寄与すること

(4) 定款に定める事業内容

定款に定める事業内容は、以下のとおりです。

- 地域医療・福祉の振興に関わる活動等に対する助成、褒賞
- 地域医療・福祉の振興に係る社会実験への助成、参画
- 医師、薬剤師、看護師等の医療従事者及び福祉従事者その他の人材の育成事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医学・薬学・看護学・福祉学・社会保障等に関する研究・調査事業及び当該事業に対する助成、褒賞
- 医薬品の研究・開発に対する助成、褒賞
- その他前条の目的を達成するために必要な事業

(5) 役員

2020年12月31日現在の役員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
理事長	杉浦 昭子	スギホールディングス株式会社 相談役
副理事長	杉浦 伸哉	スギホールディングス株式会社 取締役／株式会社スギ薬局 常務取締役 事業本部長
理事	秋下 雅弘	東京大学 大学院医学系研究科 生殖・発達・加齢医学専攻 教授／東京大学医学部附属病院 老年病科 教授
	井口 昭久	愛知淑徳大学 健康医療科学部 スポーツ・健康医科学科 教授／名古屋大学 名誉教授
	大島 伸一	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 名誉総長／日本福祉大学 常務理事
	高瀬 義昌	医療法人社団至高会 理事長 たかせクリニック 院長／公益財団法人日米医学医療交流財団 理事／昭和大学 客員教授
	中井 加代子	公益社団法人日本看護協会 監事／特定非営利活動法人看護の広場 理事長
	鍋島 俊隆	藤田医科大学 大学院医療科学専攻 先進診断システム探索研究部門 客員教授／特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構 理事長／名古屋大学 名誉教授／アレクサンドル・イワン・クザ大学（ルーマニア）名誉教授
	野本 慎一	京都大学 名誉教授／一般社団法人電子連絡ノート協会 理事長
	久常 節子	元 公益社団法人日本看護協会 会長
	堀 美智子	株式会社エス・アイ・シー 取締役 医薬情報部門責任者／スギホールディングス株式会社 社外取締役
監事	山村 恵子	藤田医科大学 医療科学部 先進診断システム探索部門 高度薬学情報管理学 教授
	神谷 誠	公認会計士税理士神谷誠事務所 所長 スギホールディングス株式会社 社外監査役
	平野 晃	平野晃公認会計士事務所／元 新日本有限責任監査法人 シニアパートナー

(注) 五十音順で記載しております。

(6) 評議員

2020年12月31日現在の評議員は、以下のとおりです。

役名	氏名	所属・役職
評議員会長	杉浦 広一	スギホールディングス株式会社 代表取締役会長
評 議 員	荒井 秀典	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 理事長
	上野 桂子	社会福祉法人聖隷福祉事業団 監事／元 一般社団法人全国訪問看護事業協会 副会長（現 顧問）
	木村 隆次	公益社団法人青森県介護支援専門員協会 副会長／一般社団法人青森県薬剤師会 会長
	葛谷 雅文	名古屋大学 大学院医学系研究科 発育・加齢医学講座 地域在宅医療学 老年科学分野 教授
	倉田 なおみ	昭和大学 薬学部 社会健康薬学講座 社会薬学部門 客員教授
	白澤 政和	国際医療福祉大学 大学院 教授
	杉浦 克典	スギホールディングス株式会社 代表取締役副社長／株式会社スギ薬局 代表取締役社長
	鈴木 匡	名古屋市立大学 大学院薬学研究科 臨床薬学分野 教授
	高橋 紘士	一般財団法人高齢者住宅財団 特別顧問／東京通信大学 教授
	田中 滋	埼玉県立大学 理事長／慶應義塾大学 名誉教授
	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
	水流 聡子	東京大学 大学院工学系研究科 化学システム工学専攻 品質・医療社会システム工学寄付講座 特任教授
	豊田 百合子	大阪保健福祉専門学校 副学校長／元 公益社団法人大阪府看護協会 会長（現 顧問）
伴 信太郎	愛知医科大学 医学教育センター 特命教授	

(注) 五十音順で記載しております。

(7) 事務局組織

2020年12月31日現在における事務局組織は、以下のとおりです。

職員構成

事務局長	1名
企画グループ	2名
総務・経理グループ	3名

(8) 理事会

当事業年度に開催した理事会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2020年2月20日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・2019年度（第5期）事業報告書、計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録承認の件 ・第5回定時評議員会招集の件 ・理事会運営規程及び職務権限規程一部変更の件
2020年3月12日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・副理事長（代表理事）選定の件 ・第9回杉浦地域医療振興賞承認の件
2020年4月24日 理事会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・第9回杉浦地域医療振興助成実施の件 ・株式会社スギ商事の定款変更に関する同意の件
2020年7月10日 理事会	【決議事項】 ・寄附金取扱規程制定の件 【報告事項】 ・業務執行状況報告の件
2020年11月19日 理事会	【報告事項】 ・業務執行状況報告の件 【決議事項】 ・2021年度（第7期）事業計画書及び収支予算書承認の件

(9) 評議員会

当事業年度に開催した評議員会は、以下のとおりです。

開催日	目的事項
2020年3月12日 第5回定時評議員会（報告・決議の省略の方法による）	【報告事項】 ・2019年度（第5期）事業報告書報告の件 【決議事項】 ・2019年度（第5期）計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び財産目録承認の件 ・定款一部変更の件 ・評議員3名選任の件 ・理事4名選任の件
2020年3月22日 評議員会（決議の省略の方法による）	【決議事項】 ・定款一部変更の件
2020年11月19日 臨時評議員会	【決議事項】 ・2021年度（第7期）事業計画書及び収支予算書承認の件

以上

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する事業報告の附属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しておりません。

2021年2月

公益財団法人杉浦記念財団